

個別施設計画

策定年月 R2.1

施設名	笠岡商業高等学校			所在地	笠岡市笠岡3203		
敷地面積	76,205.00 m ²			棟数	51 棟 (計画記載対象 13 棟)		
延床面積	12,338.56 m ²				※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	高等学校教育のため						
【想定される自然災害】							
予想震度 5強 津波 ー 浸水 ー							
建築規制	非線引き都市計画区域、第一種住居地域 建ぺい率60%、容積率200%						
エネルギー使用量 (2018年度)	電気	ガス	水道	燃料(灯油)			
	277,330 kWh	136 m ³	3,419 m ³	2,160 0			
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 笠岡市指定緊急避難場所・指定避難所(津波、洪水、高潮、地震)						

1 施設内建物の概況

名称	特別教室棟(102棟)33	体育館(48棟)19-1	格技場(92棟)19-6
築年(西暦)	1995年	1971年	1984年
構造	鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 1階
建築面積	248.40 m ²	1,331.92 m ²	373.75 m ²
延床面積	496.80 m ²	1,331.92 m ²	373.75 m ²
主要な用途 (室名等)	パソコン教室	体育館	武道場
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備	空調設備 消火設備	空調設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≥0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適

※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適

※4 傾斜が有る場合は不適

※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	多目的ホール(104棟)19-8	吸江会館(108棟)36	普通教室棟(44-1棟)2-2
築年(西暦)	1995年	2001年	1966年
構造	鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	600.48 m ²	241.75 m ²	132.63 m ²
延床面積	600.48 m ²	334.05 m ²	397.16 m ²
主要な用途 (室名等)	多目的ホール	同窓会館	普通教室
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備 消火設備	空調設備	空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		適
	中性化 ※3		適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	普通教室その他棟(44-2棟)2-1	理科特別教室棟(44棟)2-3	管理棟(45棟)1-1
築年(西暦)	1967 年	1965 年	1968 年
構 造	鉄筋コンクリート造 3 階	鉄筋コンクリート造 3 階	鉄筋コンクリート造 3 階
建築面積	336.57 m ²	191.94 m ²	362.88 m ²
延床面積	1,036.42 m ²	594.91 m ²	1,059.84 m ²
主要な用途 (室名等)	普通教室	化学教室 物理教室 音楽教室	校長室 事務室 職員室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	不適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	産振特別教室棟(46棟)1-2	管理特別教室棟(78棟)23	産振及び特別教室棟(85-1棟)28-1,3
築年(西暦)	1969年	1978年	1982年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 4階
建築面積	222.75 m ²	379.08 m ²	497.26 m ²
延床面積	668.25 m ²	1,148.55 m ²	1,858.66 m ²
主要な用途 (室名等)	商事实習室 簿記教室 タイプ教室	食物教室 被服教室 図書室	LL教室 実践教室 美術教室
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	不適	不適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	屋根 外壁 給排水設備

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	自転車置場(96棟)	
築年(西暦)	1985 年	
構 造	鉄骨 造 2 階	
建築面積	336.75 m ²	
延床面積	673.50 m ²	
主要な用途 (室名等)	自転車置場	
主要な設備 (屋外を含む)		
利用状況	高	
耐震性 ※1	有	
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	
	中性化 ※3	
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適
	地盤沈下 ※5	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
特別教室棟(102棟)33	予防保全を図る。
体育館(48棟)19-1	・設備等の定期更新を行う。 ・長寿命化改修を行う。
格技場(92棟)19-6	予防保全を図る。
多目的ホール(104棟) 19-8	予防保全を図る。
吸江会館(108棟)36	予防保全を図る。
普通教室棟(44-1棟) 2-2	設備等の定期更新を行う。
普通教室その他棟 (44-2棟)2-1	予防保全を図る。
理科特別教室棟(44 棟)2-3	設備等の定期更新を行う。
管理棟(45棟)1-1	予防保全を図る。
産振特別教室棟(46 棟)1-2	長寿命化改修を行う。
管理特別教室棟(78 棟)23	長寿命化改修を行う。
産振及び特別教室棟 (85-1棟)28-1,3	長寿命化改修を行う。
自転車置場(96棟)	予防保全を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

1 設備等更新 劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
2 長寿命化改修 屋上防水等を行うほか、内部・外部の改修を行う。 (48棟)2023年度以降設計・施工 (46棟)2025年度以降設計・施工 (78棟)2024年度以降設計・施工 (85-1棟)2022年度以降設計・施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
特別教室棟 (102棟)33	予防保全			予防保全を図る。							
体育館(48棟) 19-1	設備等の 定期更新								照明 LED化		
	長寿命化改修							設計・施工 2			
格技場(92棟) 19-6	予防保全			予防保全を図る。							
多目的ホール (104棟)19-8	予防保全			予防保全を図る。							
吸江会館(108 棟)36	予防保全			予防保全を図る。							
普通教室棟 (44-1棟)2-2	設備等の 定期更新					屋上 防水					
普通教室その 他棟(44-2棟) 2-1	予防保全			予防保全を図る。							
理科特別教室 棟(44棟)2-3	設備等の 定期更新					屋上 防水					
管理棟(45棟) 1-1	予防保全			予防保全を図る。							
産振特別教室 棟(46棟)1-2	長寿命化改修								設計・施工 1		
管理特別教室 棟(78棟)23	長寿命化改修							設計・施工 2			
産振及び特別 教室棟(85-1 棟)28-1,3	長寿命化改修						設計・施工 3				
自転車置場(96 棟)	予防保全			予防保全を図る。							

4. 概算費用

総額 8億円(長寿命化改修)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R3.11	普通教室棟(44-1棟)及び理科特別教室棟(44棟)において、設備等の定期更新を追加
R6.3	体育館(48棟)において、設備等の定期更新を追加